

厚生労働大臣 殿

島根大学医学部附属病院長

小林 祥

島根大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	153人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	167人	133.4人	300.4人	看護業務補助	22.7人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	6人	11人	理学療法士	6人	臨床検査 衛生検査技師 その他	臨床検査技師 29.2人
薬剤師	17人	5人	22人	作業療法士	3人		衛生検査技師 0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人		その他 0人
助産師	6人	0.7人	6.7人	義肢装具士	0人		あん摩マッサージ指圧師 0人
看護師	360人	15.1人	375.1人	臨床工学技士	3人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	2人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯科技工士	1人	事務職員	189.5人
管理栄養士	3人	1人	4人	診療放射線技師	21人	その他の職員	7人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	497.2人	7.9人	505.1人
1日当たり平均外来患者数	939.0人	39.5人	978.5人
1日当たり平均調剤数	612.4剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0人
・人工中耳	有・無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術 (内視鏡下を含む)	有・無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	0人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	0人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	0人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	0人
・成長障害のDNA診断	有・無	0人
・生体部分肺移植術	有・無	0人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い 患者数
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	0人
・悪性黒色腫、乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	0人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	0人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・無	0人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	0人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	0人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	0人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	0人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	0人
・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	有・無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験（CD-DST法）	有・無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0人

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い 患者数
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するレーザーによる経皮的椎間板減圧術 (CT透視下法)	有・無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	0人
・活性化血小板の検出	有・無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0人
・末梢血幹細胞 (CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	0人
・副甲状腺内活性化型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	0人
・自己腫瘍 (組織) を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人
・自己腫瘍 (組織) 及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人

高度先進医療の種類 (歯科)	承認	取扱い 患者数
・インプラント義歯	有・無	0人
・顎顔面補綴	有・無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	0人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	0人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	0人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）	有・無	0人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	0人
強度変調放射線治療	有・無	0人
胎児心超音波検査	有・無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	0人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	0人
インプラント義歯	有・無	0人
顎顔面補綴	有・無	0人
人工中耳	有・無	0人
歯周組織再生誘導法	有・無	0人
抗がん剤感受性試験	有・無	0人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	0人
生体部分肺移植術	有・無	0人
活性化血小板の検出	有・無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	0人
超音波骨折治療法	有・無	0人
眼底三次元画像解析	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	0人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	0人
定量的CTを用いた有限要素法により骨強度予測評価	有・無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
- 2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
- 3 高度医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	45人	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	9人
・多発性硬化症	24人	・ウェゲナー肉芽腫症	7人
・重症筋無力症	39人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	11人
・全身性エリテマトーデス	108人	・多系統萎縮症	18人
・スモン	4人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	1人
・再生不良性貧血	31人	・膿疱性乾癬	3人
・サルコイドーシス	27人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・原発性胆汁性肝硬変	5人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	94人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	64人	・特発性大腿骨頭壊死症	26人
・結節性動脈周囲炎	14人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	57人	・原発性免疫不全症候群	0人
・大動脈炎症候群	11人	・特発性間質性肺炎	3人
・ピュルガー病	8人	・網膜色素変性症	10人
・天疱瘡	6人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	26人	・原発性肺高血圧症	0人
・クローン病	33人	・神経繊維腫症	0人
・難知性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	84人	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	2人
・アミロイドーシス	8人	・ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病）含む	3人
・後縦靭帯骨化症	19人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		

（注）「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に 3回程度	
剖 検 の 状 況	剖検症例数 50 例	剖検率 17.5 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門 (診療科等)	金額	補助元又は委託元
骨形成促進治療法の開発に向けた骨粗鬆症治療薬の骨形成促進機序に関する研究	杉本利嗣	内分泌代謝・血液腫瘍内科	2,300千円	補文部科学省科学研究費補助金
ホルモン受容機構異常研究	杉本利嗣	内分泌代謝・血液腫瘍内科	800千円	補厚生労働省
島根大学健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト—新たな人体解析システムの確立と地域に根ざした機能性食品の開発—	杉本利嗣	内分泌代謝・血液腫瘍内科	600千円	補島根大学重点研究部門研究プロジェクト
バレット上皮形成促進因子のクローニングとこれを標的としたバレット癌の遺伝子治療	木下芳一	消化器・肝臓内科	600千円	補文部科学省科学研究費補助金
消化管粘膜の自然免疫システムにおけるToll受容体シグナルの負の制御機構の解析	石原俊治	消化器・肝臓内科	700千円	補文部科学省科学研究費補助金
食道幹細胞培養モデルを用いたバレット食道の発生機構の解明	数森秀章	消化器・肝臓内科	2,300千円	補文部科学省科学研究費補助金
非アルコール性脂肪性肝疾患の進展・発癌への潜在性HCVの関与	佐藤秀一	消化器・肝臓内科	2,100千円	補文部科学省科学研究費補助金
糖尿病患者における食道知覚低下による逆流性食道炎重症化メカニズムの検討	古田賢司	消化器・肝臓内科	1,900千円	補文部科学省科学研究費補助金
経管栄養施行下の神経疾患患者における逆流性肺炎に対する治療法開発	小黒浩明	神経・血液・膠原病内科	600千円	補文部科学省科学研究費補助金
脳卒中急性期における血圧変動と脳循環自動調節能障害の経時的評価	飯島献一	神経・血液・膠原病内科	600千円	補文部科学省科学研究費補助金
脳梗塞の細胞再生医療の研究：脳梗塞モデルラットにおける幹細胞株移植実験	長井 篤	神経・血液・膠原病内科	500千円	補文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門 (診療科等)	金額	補助元又は委託元
高齢者の脳機能障害回復のためのリハビリ支援システムの可能性試験	山口修平	神経・血液・ 膠原病内科	2,000 千円	補財団法人しまね 産業振興財団
喫煙・飲酒・カフェイン摂取に対する反応性の個体差に関する研究	磯部 威	呼吸器・腎臓 内科	2,000 千円	補喫煙科学研究財 団
高分子ヒアルロン酸は腹膜線維化を抑制する	伊藤孝史	呼吸器・腎臓 内科	1,700 千円	補文部科学省科学 研究費補助金
小麦アレルゲンエピトープを消化する麹由来プロテアーゼの同定とその応用	森田栄伸	皮膚科	12,000 千円	補文部科学省科学 研究費補助金
難治性皮膚疾患（重症多形滲出性紅斑（急性期）を含む）の画期的治療法に関する研究	森田栄伸 (分担)	皮膚科	1,000 千円	補厚生労働省科学 省科学研究費補助 金
神経皮膚症候群に関する調査研究	古村南夫 (分担)	皮膚科	1,300 千円	補厚生労働省科学 省科学研究費補助 金
有機酸・脂肪酸代謝異常のスクリーニング、診断、治療評価、病因検索体制の確立	山口清次	小児科	2,100 千円	補文部科学省科学 研究費補助金
F a s t - G C / M S を導入した迅速、高感度、高精度の代謝異常診断システムの開発	山口清次	小児科	1,300 千円	補文部科学省科学 研究費補助金
11q23 転座型白血病に対する R a p a m y c i n の効果に関する研究	竹谷 健	小児科	900 千円	補文部科学省科学 研究費補助金
わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあの方に関する研究	山口清次	小児科	8,000 千円	補厚生労働省科学 研究費補助金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明と治療及び予防方法の確立に関する研究	山口清次 (分担)	小児科	3,000 千円	補厚生労働省科学 研究費補助金
子どもの病気に関する包括的データベース（難知性疾患に関する疫学研究データベース等を含む）の構築と	山口清次 (分担)	小児科	1,500 千円 (主任者 経理)	補厚生労働省科学 研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門 (診療科等)	金額	補助元又は委託元
その利用に関する研究				
平成18年度「インフルエンザ脳症をふくむ急性脳症患者の有機酸・脂脂肪酸代謝解析」	山口清次 (分担)	小児科	4,000千円	委医薬基盤研究所
先天代謝異常症の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	山口清次 (分担)	小児科	1,000千円	委国立成育医療センター
肝虚血・再酸素化障害におけるHMG B-1の役割・代謝処理機構の解明	山野井 彰	消化器・一般外科	800千円	補文部科学省科学研究費補助金
膵癌における各種分子標的の発現と分子標的治療物質に対する感受性に関する研究	樽とも子	循環器・消化器総合外科	600千円	補文部科学省科学研究費補助金
ティッシュエンジニアリングを用いたバイオ人工関節の開発	内尾祐司	整形外科	1,200千円	補文部科学省科学研究費補助金
膝 ACL 再建後の関節軟骨変性を高感度の立体的構造解析法で評価する	森 隆治	整形外科	800千円	補文部科学省科学研究費補助金
基質に隔てられた軟骨細胞がATPによる情報伝達をしていることを証明する	松崎雅彦	整形外科	1,200千円	補文部科学省科学研究費補助金
胎児期の関節軟骨修復に関与する遺伝子を解明する	岩佐潤二	整形外科	1,000千円	補文部科学省科学研究費補助金
正常および損傷後の関節軟骨における酸化ストレスの制御：チオレドキシン遺伝子の発現	柿丸裕之	整形外科	500千円	補文部科学省科学研究費補助金
悪性星細胞腫細胞株におけるPI3K/Akt 生存シグナル経路の抑制に関する研究	新宮多加志	脳神経外科	1,000千円	補文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門 (診療科等)	金額	補助元又は委託元
Acellular matrix graft を用いた膀胱再生の研究	椎名浩昭	泌尿器科	6,000 千円	補文部科学省科学研究費補助金
腎移植後の慢性拒絶反応の早期発見へ向けた新しい試み	椎名浩昭	泌尿器科	1,500 千円	補文部科学省科学研究費補助金
メチル化遺伝子を標的とした新しい前立腺癌の診断的戦略	米田達明	泌尿器科	1,800 千円	補文部科学省科学研究費補助金
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	井川幹夫 (分担)	泌尿器科	1,000 千円	補厚生労働省科学研究費補助金
睡眠時ミオクローヌスを指標とした抗精神病薬誘発性錐体外路症状の病態研究	堀口 淳	精神科神経科	1,500 千円	補文部科学省科学研究費補助金
上気道炎症の病態形成における Toll-like receptor (TLR) の役割	川内秀之	耳鼻咽喉科	1,500 千円	補文部科学省科学研究費補助金
中耳の炎症病態における自然免疫の関与と Toll-like receptor の役割	村田明道	耳鼻咽喉科	500 千円	補文部科学省科学研究費補助金
胎児嗅上皮の発生・成熟過程の形態学的解析 走査電子顕微鏡による検討	木村光宏	耳鼻咽喉科	2,100 千円	補文部科学省科学研究費補助金
網膜酸化障害マーカーの開発、及び網膜光障害に対する新規ビタミンE強化療法の効果	大平明弘	眼科	3,200 千円	補文部科学省科学研究費補助金
網膜内のホメオスタシス維持における網膜血液関門とアクアポリンの相互作用	海津幸子	眼科	1,400 千円	補文部科学省科学研究費補助金
点眼剤の抗酸化酵素発現誘導に関する研究	海津幸子	眼科	300 千円	補島根大学医学教育振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門 (診療科等)	金額	補助元又は委託元
がん診療情報の収集・解析・活用について	石倉浩人	腫瘍科	11,228 千円	補 島根県
癌治療における化学療法の質的向上	石倉浩人	腫瘍科	7,000 千円	補 出雲市
Line-Scan法を用いた脳幹部・脊髄のFiber Tracking	和田昭彦	放射線科	600 千円	補 文部科学省科学研究費補助金
非 NMDA グルタミン酸受容体拮抗薬の脊髄鎮痛効果と副作用の研究	今町憲貴	麻酔科	1,000 千円	補 文部科学省科学研究費補助金
MRI用プロテクタの研究開発	内田幸司	放射線部	1,000 千円	補 文部科学省科学研究費補助金
胆管細胞癌におけるTRAILによる癌浸潤能増強機序の解明	石村典久	救急部	2,300 千円	補 文部科学省科学研究費補助金
安全・安心な医療の基盤構築に向けた医療機関における電磁環境の総合的研究	花田英輔	医療情報部	4,400 千円	補 文部科学省科学研究費補助金
Barrett 上皮の発生・成熟・発癌における各種遺伝子発現の係わりに関する検討	天野祐二	光学医療診療部	1,000 千円	補 文部科学省科学研究費補助金
逆流胆汁酸組成からみた Barrett 食道の発生及び発癌機構の解明	天野祐二	光学医療診療部	500 千円	補 財団法人内視鏡医学研究振興財団
第 44 回全国国立大学臨床検査技師会総会開催の助成	柴田 宏	検査部	300 千円	補 財団法人島根大学医学研究振興財団
サイトカイン存在下でのヒト不死化骨髄間質細胞株を用いた造血幹細胞の体外増幅法の確立	三島清司	輸血部	300 千円	補 財団法人島根大学医学研究振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門 (診療科等)	金額	補助元又は委託元
前立腺癌におけるタキサン系抗癌剤の耐性機構に関する研究	玉木宏樹	薬剤部	900 千円	補 日本学術振興会
6-mercaptopurine の体内動態変動を規定する因子に関する研究	西村信弘	薬剤部	710 千円	補 日本学術振興会
ゲフィニチブの消化管吸収におけるトランスポーターを介した薬物相互作用に関する研究	山本 英	薬剤部	710 千円	補 日本学術振興会
前立腺癌細胞におけるタキサン系抗癌剤の P 糖タンパク質を介した耐性機構に関する研究	玉木宏樹	薬剤部	300 千円	補 島根大学医学研究振興財団
無症候性脳梗塞・白質病変に関するガイドラインの検証研究	小林祥泰	病院長	8,000 千円	補 文部科学省科学研究費補助金
高齢者の認知機能障害の進展予防を目的とした漢方薬医療の確立	小林祥泰 (分担)	病院長	1,600 千円	補 厚生労働省科学研究費補助金
高血圧関連疾患に関する多面的なゲノム疫学研究	小林祥泰 (分担)	病院長	8,600 千円	補 独立行政法人科学技術振興機構

計 62 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の及び評価に資すると判断されるものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Digestion, 73 (suppl 2): 44, 2006 (平成18年 7月)	Expression and localization of MFG-E8 in mice gut	Aziz MD, Ishihara S, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestion, 73 (suppl 2): 48, 2006 (平成18年 7月)	Bile acids directly augment caudal-related homeobox gene Cdx2 expression in oesophageal keratinocytes in Barrett's epithelium	Kazumori H, Ishihara S, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestion, 73 (suppl2): 55, 2006 (平成18年 7月)	Low-dose of lansoprazole after breakfast and before dinner can equally inhibit gastric acid secretion	Miki M, Adachi K, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestion, 73 (suppl 2): 64, 2006 (平成18年 7月)	Reg1 knockout mice reveal its role in regulation of cell growth that is required in generation and maintenance of the villous structure of small intestine	Ose T, Kadowaki Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology, 21: 1581-1585, 2006 (平成18年10月)	Tolerance to H2 receptor antagonist correlates well with the decline in efficacy against gastro-esophageal reflux in patients with GERD	Furuta K, Adachi K, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部

雜誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Journal of Gastroenterology and Hepatology, 21: 1656-1659, 2006 (平成18年11月)	Difference in localization of esophageal mucosal breaks among grades of esophagitis	Katsube T, Adachi K, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology, 21: 1664-1668, 2006 (平成18年11月)	Influence of acid suppressants on gastric emptying: cross-over analysis in healthy volunteers	Takahashi Y, Amano Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Current Pharmaceutical Design, 12: 4215-4228, 2006 (平成18年12月)	Therapeutic targeting of toll-like receptors in gastrointestinal inflammation	Ishihara S, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Esophagus, 3: 19-22, 2006 (平成18年4月)	A case report of mucosal Barrett's cancer with vessel involvement, with special reference to indications for endoscopic mucosal ablation therapy	Yuki T, Amano Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology, 21: 1714-1719, 2006 (平成18年11月)	Kinetics of indocyanine green removal from blood can be used to predict the size of the area removed by radiofrequency ablation of hepatic nodules	Sato S, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Scandinavian Journal of Gastroenterology, 41: 873-879, 2006 (平成18年4月)	Prevalence of and risk factors for Barrett's esophagus with intestinal predominant mucin phenotype	Amano Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部

雜誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Digestive and Liver Disease, 38: 296-300, 2006 (平成18年 5月)	Evaluation of modified crystal violet chromoendoscopy procedure using new mucosal pit pattern classification for detection of Barrett's dysplastic lesions	Yuki T, Amano Y, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
Journal of Gastroenterology, 41: 720-721, 2006 (平成18年 7月)	Hiatal hernia and gastroesophageal flap valve as diagnostic indicators in patients with gastroesophageal reflux disease	Kinoshita Y, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
Journal of Gastroenterology, 41: 706-710, 2006 (平成18年 7月)	A Japanese case of eosinophilic esophagitis	Furuta K, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
American Journal of Physiology-Gastrointestinal and Liver Physiology, 291: G735-G743, 2006 (平成18年10月)	Increased expression of Midkine in the rat colon during healing of experimental colitis	Yuki T, Ishihara S, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
Oncogene, 26: 349-359, 2006 (平成19年 2月)	Reg 1 -knockout mice reveal its role in regulation of cell growth that is required in generation and maintenance of the villous structure of small intestine	Ose T, Kadowaki Y, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部

雜誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Gastrointestinal Endoscopy, 64: 206-211, 2006 (平成18年 8月)	Which landmark results in a more consistent diagnosis of Barrett's esophagus, the gastric folds or the palisade vessels?	Amano Y, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
Esophagus, 3: 71-74, 2006 (平成18年 4月)	Esophageal intramural pseudodiverticulosis improved by endoscopic dilatation	Ose T, Okita K, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
American Journal of Gastroenterology, 101: 2666-2667, 2006 (平成18年11月)	Localization of early stage dysplastic Barrett's lesion in patients with short segment Barrett's esophagus	Moriyama N, Amano Y, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
Endoscopy, 38: 1032-1035, 2006 (平成18年10月)	Inter-observer agreement on classifying endoscopic diagnoses of non-erosive esophagitis	Amano Y, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
Alimentary Pharmacology and Therapeutics, 24: 1445-1451, 2006 (平成18年11月)	A comparative study of intragastric acidity during post-breakfast and pre-dinner administration of low-dose proton pump inhibitors: a randomized three-way crossover study	Miki M, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Alimentary Pharmacology and Therapeutics, 24 (suppl. 4): 41-48, 2006 (平成18年12月)	Efficacy of proton pump inhibitors for cellular proliferation and apoptosis in Barrett's oesophagus with different mucin phenotypes	Amano Y, et al	消化器内科、 肝臓内科、光 学医療診療 部
investigational New Drugs 24 : 151-158, 2006 (平成18年)	Multicenter phase II study of amrubicin, 9-amino-anthracycline, in patients with advanced non-small-cell lung cancer (Study 1): West Japan Thoracic Oncology Group (WJTOG) trial.	Sawa T, Yana T, Isobe T	呼吸器内科
中国腎不全研究会誌 (平成18年 9月)	肺胞出血をきたしたにもかかわらず救命できた ANCA 関連血管炎の一例	中川知憲、伊藤孝史、高島利一、他	腎臓内科
Journal of Cardiac Failure (平成18年)	Myocarditis and Heart Failure. Associated With Hepatitis C Virus Infection	Shimada T	循環器内科
The American Journal of the Medical Sciences (平成18年)	Cardiac Involvement in Kugelberg - Welander Disease:A Case Report and Review	Takahashi N	循環器内科
アレルギー (平成19年 1月)	グルテン CAP-RAST が陰性であった小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの4症例	森田栄伸	皮膚科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Journal of Dermatology (平成19年 3月)	Acetaminophen-induced urticaria without aspirin intolerance.	Yoshio Tsujino	Department of Dermatology
Brain and Development (平成18年 9月)	Distal myopathy with rimmed vacuoles in a case of opercular syndrome.	Toriumi Y	小児科
Brain & Dev (平成18年 5月)	Two Japanese families with hyperekplexia who have a Arg271Gln mutation in the glycine receptor alpha 1 subunit gene.	Kimura M	小児科
島根母性衛生学会雑誌 (平成18年10月)	周産期からの虐待予防の重要性ー被虐待児の医療相談に関わった経験からー.	岸 和子	小児科
小児科臨床 (平成18年11月)	ロタウイルス感染により Hemorrhagic shock and encephalopathy を来した 2歳男児例.	高橋あんず	小児科
小児科診療 (平成18年 8月)	新生児期に発症した急性化膿性耳下腺炎の1例.	鳥海善貴	小児科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
癌と化学療法 (平成18年 4月)	Cisplatin 肝動注療法と TS-1 経口投与が奏効した 膵腺房細胞癌肝転移の1例	片岡佳樹、仁 尾義則、矢野 誠司、小池 誠、橋本幸 直、板倉正 幸、板垣友 子、西 健、 遠藤真一郎、 樋上哲哉	消化器・総合 外科学
日本臨床外科学会雑誌 (平成18年 4月)	甲状腺原発形質細胞腫の1 例	小池 誠、片 岡佳樹、西 健、橋本幸 直、板倉正 幸、矢野誠司	消化器・総合 外科学
Langenbecks Archives of Surgery (平成18年 6月)	Surgical treatment of superficial esophageal cancer	M Tachibana S Kinugasa, M Shibakita, Y Tonomoto, S Hattori, R Hyakudomi, H Yoshimura, DK Dhar, N Nagasue	消化器・総合 外科学
日本臨床外科学会雑誌 (平成18年 7月)	甲状腺原発形質細胞腫の1 例	小池 誠、 片岡佳樹、西 健、橋本幸 直、板倉正 幸、矢野誠司	消化器・総合 外科学
日本臨床外科学会雑誌 (平成18年 8月)	腹腔鏡下腹仙骨式直腸切断 術後の仙骨部癒痕ヘルニア	衣笠章一、木 村聡宏、吉川 幸伸、明渡寛	消化器・総合 外科学
外科 (平成18年12月)	術前診断が可能であった外 鼠径ヘルニア Richter 型 S 状結腸嵌頓の1例	川畑康成、 楠本長正、宮 本勝文	消化器・総合 外科学

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Journal of Surgical Oncology (2007年 3月)	Fractalkine-CS3CR1 axis regulates tumor cell cycle and deteriorates prognosis after radical resection for hepatocellular carcinoma	T Matsubara, T Ono, A Yamanoi, M Tachibana, N Nagasue	消化器・総合 外科学
日本呼吸器外科学会雑誌 (平成18年 5月)	術前に経皮的動脈塞栓術を施行した胸壁由来、孤立性線維性腫瘍 (solitary fibrous tumor of pleura) の1切除例	西尾渉	循環器・呼吸 器外科
気管支学 (平成18年 5月)	気管切開下の気管支形成術の1例	西尾渉	循環器・呼吸 器外科
胸部外科 (平成18年 6月)	「胸部外科の指針」:高リスク例に対する OPCAB	花田智樹	循環器・呼吸 器外科
The Journal of Bone and Joint Surgery 88(4): 477-483 (平成18年)	Decrease in anterior knee laxity by electrical stimulation of normal and reconstructed anterior cruciate ligaments	Iwasa J et al	整形外科
Cell Biochemistry and Function 24(2): 103-111 (平成18年)	Spontaneous oscillation and mechanically induced calcium wave in chondrocytes	Kono T et al	整形外科
American Journal of Sports Medicine 34(9): 1450-1456 (平成18年)	Retrograde Drilling for Osteochondral Lesions of the Talar Dome.	Kono T et al	整形外科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
The Journal of Bone and Joint Surgery 88(4): 477-483 (平成18年)	Decrease in anterior knee laxity by electrical stimulation of normal and reconstructed anterior cruciate ligaments	Iwasa J et al	整形外科
Journal Orthopaedic Science 11(1): 70-74 (平成18年)	Optimum surgical suture material and methods to obtain high strength at knots:problems of conventional knots and the reinforcement effect of adhesive agent	Komatsu F et al	整形外科
Journal of Orthopaedic Science 11(6): 614-619 (平成18年)	Biomechanical differences resulting from the combination of suture materials and repair techniques	Yamagami N et al	整形外科
Arthroscopy 22(10): 1119-1125 (平成18年)	Reconstruction of lateral ligament with arthroscopic drilling for treatment of early-stage osteoarthritis in unstable ankles	Takao M et al	整形外科
分子リウマチ 3(1): 63-68 (平成18年)	関節手術の最前線 Part1 関節軟骨修復の現状と展望	内尾祐司	整形外科
整形外科 57(3): 339-343 (平成18年)	中・高齢女性の背側転位型 橈骨遠位端骨折に対する掌 側プレート固定術の検討ー ロッキングプレートとアン ロッキングプレートの比較	宮本 亘 他	整形外科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
整形外科 57(2): 197-199 (平成18年)	足関節背屈制限をきたした 長腓骨筋腱内ガングリオン の1例.	今 出 真 司 他	整形外科
整形外科 57(2): 200-201 (平成18年)	踵骨骨内脂肪腫の1例	宮 本 巨 他	整形外科
神経疾患 最新の治療 2006-2008: 236-238 (平成18年)	圧迫性ニューロパチー	内尾祐司	整形外科
きょうの健康 4月号: 19-37 (平成18年)	早めに解決! ひざの痛み	内尾祐司	整形外科
きょうの健康 5月号: 102-113 (平成18年)	早めに解決! ひざの痛み	内尾祐司	整形外科
改訂版 整形外科専門医をめざすため の 経験すべき外傷・疾患 97: 41-46 (平成18年)	Osgood-Schlatter 病, 有痛 性分裂膝蓋骨	内 尾 祐 司 他	整形外科
関節外科 25 4月号増刊号: 57-62 (平成18年)	組織工学的手法を用いた軟 骨修復の基礎と臨床	岩 佐 潤 二 他	整形外科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Monthly Book Orthopaedics 19 (4) : 7-14 (平成 18 年)	肩こりの診断	松崎雅彦 他	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 49: 71-72 (平成 18 年)	骨粗鬆症椎体骨折後偽関節 に対する calcium phosphate cement を用いた 椎体形成術の短期治療成績	松崎雅彦 他	整形外科
脊椎外科の要点と盲点：頸椎：60-62 (平成 18 年)	外来における装具療法・牽 引療法	松崎雅彦	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 49 (1) : 185-186 (平成 18 年)	腰部脊柱管狭窄症における 椎間板の画像変化	柿丸裕之 他	整形外科
整形外科 57 (10) : 1401-1408 (平成 18 年)	膝・足関節・足疾患	内尾祐司	整形外科
整形・災害外科 49 (10) : 1081-1086 (平成 18 年)	関節軟骨欠損に対する培養 軟骨細胞移植術の中・長期 成績	岩佐潤二 他	整形外科
運動・物理療法 17 (3) : 202-208 (平成 18 年)	前十字靭帯損傷膝と再建膝 における膝関節固有感覚の 評価と訓練	岩佐潤二 他	整形外科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
骨・関節・靭帯 19(8) : 703-708 (平成18年)	脊椎手術における予防的抗菌薬投与の検討—術翌日からの予防的抗菌薬投与は必要か?—	柿丸 裕之 他	整形外科
日本手の外科学会雑誌 別冊 23(3) : 242-246 (平成18年)	ポリエチレン混合系を用いた腱縫合における Side locking 法, 津下法, 吉津法の力学的強度の比較	四本 忠彦 他	整形外科
中部日本整形外科学会災害外科学会雑誌 49(2) : 333-334 (平成18年)	大腿骨近位部骨折後早期に対側大腿骨近位部脆弱性骨折を生じた3例	今出 真司 他	整形外科
中国・四国整形外科学会雑誌 18(2) : 235-238 (平成18年)	膝後十字靭帯 (PCL) 脛骨付着部剥離骨折の3例	今出 真司 他	整形外科
Surgical Neurology (平成18年 4月)	The key to improving prognosis for aneurysmal subarachnoid hemorrhage remains in the pre-hospitalization period..	Miyazaki T	脳神経外科
Neurological Research (平成18年12月)	The role of cerebral cyst formation in the intractability of epilepsy.	Maruyama N	脳神経外科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Neurologia Medico-Chirurgica (平成19年 2月)	Subarachnoid hemorrhage in the presence of both intracranial dissecting and saccular aneurysms -Two case reports-	Akiyama Y	脳神経外科
Clinical Cancer Research 12(2) (平成18年 1月)	Epigenetic inactivation of Wnt inhibitory factor-1 plays an important role in bladder cancer through aberrant canonical Wnt/ β -catenin signaling pathway	Urakami S, et al	泌尿器科
Clinical Cancer Research 12(7) (平成18年 4月)	Combination analysis of hypermethylated Wnt-antagonist family genes as a novel epigenetic biomarker panel for bladder cancer detection	Urakami S, et al	泌尿器科
Clinical Cancer Research 12(20) (平成18年10月)	Bcl-2 expression as a predictive marker of hormone-refractory prostate cancer treated with taxane-based chemotherapy	Yoshino T, et al	泌尿器科
Clinical Cancer Research 12(23) (平成18年12月)	Wnt antagonist family genes as biomarkers for diagnosis, staging, and prognosis of renal cell carcinoma using tumor and serum DNA	Urakami S, et al	泌尿器科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
International Urology and Nephrology 38 (平成18年11月)	Usefulness of an immunochromatographical assay, PSA Rapid Test as a primary screening test for prostate cancer	Shigeno K, et al	泌尿器科
臨床と研究 (平成18年 7月)	前立腺癌の画像診断	井川幹夫	泌尿器科
西日本泌尿器科 68 (10) (平成18年10月)	前立腺癌検出における拡散強調画像の有用性	滋野和志	泌尿器科
島根医学 26 (3) (平成18年 3月)	前立腺密封小線源永久挿入療法の初期経験	滋野和志	泌尿器科
分子精神医学 (平成18年 4月)	症状特徴から診たうつと痴呆の鑑別	堀口 淳	精神科神経科
日本精神科病院協会雑誌 (平成18年 4月)	急性期統合失調症患者に対する個人精神療法としての「作業あるいは作業療法」	堀口淳	精神科神経科
Psychiatry and Clinical Neurosciences (平成18年 6月)	Factors disturbing treatment for cancer in patients with schizophrenia	稲垣卓司	精神科神経科

雑誌名 (平成 年 月)	題名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
精神神経学雑誌 (平成18年10月)	身体表現性障害の診断と治療	堀口 淳	精神科神経科
Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry (平成19年 1月)	Possible antipsychotic effects of minocycline in patients with schizophrenia	宮岡 剛	精神科神経科
Primary Care Companion (平成19年 1月)	Treatment of temporomandibular pain with a selective serotonin reuptake inhibitor (paroxetine-hydrochloride)	稲垣卓司	精神科神経科
Br J Cancer (平成18年 1月)	BRAF mutations and phosphorylation status of mitogen-activated protein kinases in the development of flat and depressed-type colorectal neoplasias.	Nakayama K, et al	産科婦人科
Magnetic Resonance in Medical Sciences (平成18年 5月)	Mesoblastic Nephroma: A Case Report of Prenatal Detection by MR Imaging.	Miyazaki K, et al	産科婦人科
島根医学 (平成18年 6月)	プライマリケア医のためのデプレッション診療.	宮崎康二	産科婦人科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Cancer Biol Ther (平成18年)	Homozygous Deletion of MKK4 in Ovarian Serous Carcinoma.	Nakayama K,et al	産科婦人科
Cancer Biol Ther (平成18年 7月)	Sequence Mutation and Amplification of PIK3CA and AKT2 Genes in Purified Ovarian Serous Neoplasms.	Nakayama K,et al	産科婦人科
Cancer Res (平成18年月)	Notch3 gene amplification in ovarian cancer.	Nakayama K,et al	産科婦人科
Proc Natl Acad Sci USA (平成18年)	A BTB/POZ protein, NAC-1, is related to tumor recurrence and is essential for tumor growth and survival.	Nakayama K,et al	産科婦人科
Molecular and Cellular Endocrinology (平成18年10月)	Dopamine D2 receptor expression and regulation of gonadotroph L β T2 cells.	Haruhiko Kanasaki, et al	産科婦人科
島根母性衛生学会雑誌 (平成18年10月)	助産師, 看護師, 保健師さんのための「うつ病」学.	宮崎康二	産科婦人科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
アレルギー科 21 (6) (平成18年 6月)	上気道アレルギー性炎症の 制御に向けた研究の動向	川内秀之	耳鼻咽喉科
Journal of Allergy and Clinical Immunology 117 (6) (平成18年 6月)	IL-15 prevents allergic rhinitis through reactivation of antigen-specific CD8+ cells.	Noriaki Aoi 他	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科 免疫アレルギー-24 (2) (平成18年10月)	アレルギー性鼻炎における ケモカイン CCL19 及び CCL21 の機能に関する検討	高村 薫, 福 山 聡, 長竹 貴広, 金 銅 瑩, 川内秀 之, 清野 宏	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科 免疫アレルギー-24 (2) (平成18年10月)	Clinical Efficacy of Cetirizine Hydrochloride Administration in the Treatment of Cedar Pollinosis Patients - Clinical Trial Over Four Seasons - .	Hideyuki kawauchi, Shingo kataoka, Hisashi Ohga, Akemichi Murata, Mitsuhiro Kimura, Noriaki Aoi, Ichiro Morikura, Kaoru Takamura, Yasuhiko Shimizu	耳鼻咽喉科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Japan Allergy Foundation kyusyu Branch 11th (平成19年 1月)	スギ花粉症緩和米による経口免疫寛容の誘導とスギ花粉症抑制の試み	川内秀之	耳鼻咽喉科
日本耳科学会会誌 46 (1) (平成 19年 1月)	スギ花粉症における第2世代抗ヒスタミン薬の臨床効果	片岡真吾, 川内秀之他	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 25 (1) (平成19年 1月)	深頸部膿瘍 11 例の治療経験	淵脇貴史, 村田明道, 片岡真吾, 川内秀之, 坪島賢司, 西尾渉	耳鼻咽喉科
眼科臨床医報 (平成18年 7月)	精神発達遅滞を伴った自傷行為による両眼性裂孔原性網膜剥離の1例	高井保幸	眼科
あたらしい眼科 (平成18年 8月)	イソプロピル ウノプロストン点眼液と従来型チモロール点眼液併用投与からラタノプロスト点眼液とチモロール熱応答型ゲル点眼液併用投与への切り替えによる臨床効果の検討	柘田 尚	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science (平成19年 1月)	Acceleration of Age-Related Changes in the Retina in α -Tocopherol Transfer Protein Null Mice Fed a Vitamin E-Deficient Diet	Masaki Tanito	眼科

雑誌名 (平成 年 月)	題名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Magnetic Resonance in Medical Sciences (平成18年 6月)	Diagnosis of ectopic pregnancy with MRI:efficacy of T2*-wighted imaging.	Jun Yoshigi, et al.	放射線科
Magnetic Resonance in Medical Sciences (平成18年 6月)	Mesoblastic Nephroma: A case Report of Prenatal Ditection by MR Imaging.	Nobuko Yamamoto, et al.	放射線科
臨床放射線 (平成18年12月)	前立腺 Inner Gland (腹側) 発生癌における拡散強調像および dynamic MRI の有用性について	吉廻 毅	放射線科
日本臨床麻酔学会誌 (平成18年 1月)	血液凝固異常時の硬膜外麻酔管理について	中谷俊彦他	麻酔科
Journal of Clinical Anesthesia (平成18年 1月)	Effects of epidural anesthesia with 0.2% and 1%ropivacaine on predicted propofol concentrations and bispectral index values at three clinical end points.	Kanata K.et al	麻酔科
Anesthesiology (平成18年 6月)	Comparative somatic and visceral antinociception and neurotoxicity of intrathcal bupivacaine, levobupivacaine and dextrobupivacaine in rats.	Muguruma T.et al	麻酔科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
日本臨床麻酔学会誌 (平成18年 9月)	成人患者に対するファロー 四徴症根治術の麻酔経験.	越 川 桂 他	麻酔科
Anesthesiology (平成18年 9月)	Enhancement of morphine analgesic effect with induction of μ - opioid receptor endocytosis in rats.	Hashimoto T. et al	麻酔科
The Pain Clinic (平成18年)	Evaluation of peripheral nerve function using current perception threshold in the herpes zoster patients and the development of post-herpetic neuralgia.	Doi K. et al	麻酔科
Journal of Oral Rehabilitation (平成18年 3月)	Rehabilitation by means of osseointegrated implants in oral cancer patients with about four to six years follow-up	J. Sekine, et al.	歯科口腔外 科
Journal of Oral Rehabilitation (平成18年 5月)	Implant-retained overdenture following hemiglossectomy: A 10-year clinical case report	Yosuke Taira, Joji Sekine, et al.	歯科口腔外 科
Proceedings of The International College of Surgeons The 52 nd Annual Congress of The Japan Section (平成18年 6月)	Oral rehabilitation by means of osseointegrated implants in oral cancer patients	Joji Sekine, et al.	歯科口腔外 科

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Mebio 23 (平成18年10月)	食道癌の内視鏡治療と集学的治療	森山一郎	腫瘍科
Medicina 43 (平成18年12月)	胃食道逆流症	森山一郎	腫瘍科
消化器の臨床 12 (平成18年12月)	健康人に発症した肝障害を伴ったサイトメガロウイルス (CMV)胃腸炎の1例	森山一郎	腫瘍科
最新医学 (平成19年 3月)	がん診療の最前線 地域がん診療連携拠点病院の整備と現状	石倉浩人	腫瘍科
島根医学検査 (平成18年 5月)	プロテアーゼとプロテアーゼインヒビター -髄液中システインプロテアーゼおよびシスタチンC濃度と中枢神経疾患の関連性-	長井篤	検査部
島根医学検査 (平成18年 5月)	異常リポ蛋白Xに対するホモジニアス法 LDL-コレステロール測定試薬の反応性	野津吉友	検査部
島根医学検査 (平成18年 5月)	3種酸化ストレスマーカーと血中一酸化窒素レベルの比較	柴田宏	検査部

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
島根医学検査 (平成18年 5月)	生理機能検査による糖尿病 合併症の評価	新田江里	検査部
分子脳血管病 (平成18年10月)	骨髄間葉系幹細胞による脳 出血再生医療.	長井 篤	検査部
日本臨床微生物学会誌 (平成18年11月)	化膿性髄膜炎症例から検出 された <i>Haemophilus</i> <i>influenzae</i> の臨床細菌学 的および分子生物学的解析	野畑亜希子	検査部
島根医学検査 (平成19年 3月)	血管内皮機能検査 FMD (Flow- Mediated Dilation) の臨床応用と問 題点	狩野賢二	検査部
島根医学検査 (平成19年 3月)	BCG 法および改良型 BCP 法による血清アルブミン濃 度測定の評価	福間恵美	検査部
島根医学検査 (平成19年 3月)	当院における血糖測定装置 の現状と問題点	庄野智子	検査部

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Journal of Clinical Anesthesia (平成18年 9月)	Effects of epidural anesthesia with 0.2% and 1% ropivacaine on predicted propofol concentrations and bispectral index values at three clinical end-points	Sakura S, et al.	手術部
Anesthesiology (平成18年 7月)	Comparative somatic and visceral antinociception and neurotoxicity of intrathecal bupivacaine, levobupivacaine, and dextrobupivacaine in rats	Sakura S, et al.	手術部
The Pain Clinic (平成18年10月)	Evaluation of peripheral nerve function using current perception threshold in the herpes zoster patients and the development of post-herpetic neuralgia	Sakura S, et al.	手術部
Anesthesia & Analgesia (平成18年10月)	Epidural lidocaine induces dose-dependent neurologic injury in rats	Sakura S, et al.	手術部
リウマチ科 (平成19年 3月)	自己免疫関連血球貪食症候群	熊倉俊一	輸血部

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
島根医学検査 (平成19年 3月)	造血幹細胞移植における STR を用いたキメリズム 解析の有用性	三島清司	輸血部
島根医学検査 (平成19年 3月)	LAN を利用した輸血製剤 保冷库温度監視システムの 構築	兒玉るみ	輸血部
Journal of Medical Systems (平成18年 4月)	The effectiveness of the installation of a mobile voice communication system in a university hospital.	花田英輔, 中國秀彰	医療情報部
メディア教育研究 (平成18年 9月)	入所高齢者向け生活感向上 システム	花田英輔	医療情報部
Journal of Medical Systems (平成18年 4月)	A Tool for Improving the Web Accessibility of Visually Handicapped Persons	花田英輔	医療情報部
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 49: 253-254 (平成18年)	大腿骨頭すべり症に対する 骨端固定術の成績	馬庭 壮吉 他	リハビリテ ーション部
Hip Joint32: 415-417 (平成18年)	高齢者の THA 再置換術の短 期成績	馬庭 壮吉 他	リハビリテ ーション部

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
Journal of Clinical Rehabilitation 15(12): 1154-1158 (平成18年)	リハビリテーション診断学	馬庭壮吉 他	リハビリテ ーション部
中国腎不全研究会誌 (平成18年 9月)	採血時にニードルレスアク セスポートから内在した凝 血塊が突出した1症例	山口智、伊藤 孝史、椎名浩 昭、井川幹 夫、高島利一 他	血液浄化治 療部
American Journal of Gastroenterology (平成18年11月)	Localization of early stage dysplastic Barrett's lesion in patients with short segment Barrett's esophagus	Moriyama N et al.	卒後臨床研 修センター、 消化器科、肝 臓内科、光学 医療診療部
Brain and Development (平成18年 9月)	Distal myopathy with rimmed vacuoles in a case of opercular syndrome.	Toriumi Y	小児科
島根母性衛生学会雑誌 (平成18年10月)	周産期からの虐待予防の重 要性ー被虐待児の医療相 談に関わった経験からー.	岸 和子	小児科
薬剤学 (平成18年6月)	病院薬剤師の海外留学・研 修制度と国際性	岩本喜久生	薬剤部

雑誌名 (平成 年 月)	題 名	発表者氏名	所属部門 (診療科等)
日本病院薬剤師会 雑誌 (平成18年6月)	米国におけるがん専門薬剤師の活動から学んだこと	西村信弘	薬剤部
臨床薬理 (平成19年3月)	学会認定薬剤師の現状と将来	岩本喜久生	薬剤部
著書：最新薬剤学 (平成18年9月)	処方と調剤	岩本喜久生	薬剤部
神経治療学 (平成19年 1月)	特集に当たって—超急性期における t-PA 静注療法—	小林祥泰	病院長
神経治療学 (平成19年 1月)	Altplase (遺伝子組換え) 注射薬市販調査結果	小林祥泰	病院長

計 154件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 祥泰			
管理担当者氏名	検査部長	長井 篤	手術部長	井川 幹夫
	放射線部長	北垣 一	薬剤部長	岩本 喜久生
	総務課長	葛原 榮一	医療サービス課長	佐藤 宏通

		保管場所	分類方法	
病院に関する諸記録		医療サービス課	カルテ等病歴資料は、入院・外来別に1患者1ファイル方式で管理し、エックス線写真は放射線部で患者毎に管理を行っている。なお、平成18年9月の電子カルテ導入後、電子化されたものは医療情報システムのデータベース上で、患者IDをキーにして管理されている。	
・手術記録		手術部		
・処方せん		薬剤部		
・検査所見記録		検査部		
・エックス線写真		放射線部		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	医学部総務課		
	高度の医療の提供の実績	医学部総務課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課		
	高度の医療の研修の実績	医学部総務課		
	閲覧実績	医学部医療サービス課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医療サービス課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医療サービス課及び薬剤部		
	体制確保の状況 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医学部医療サービス課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課	
		医療にかかる安全管理を行う部門の設置状況	医学部医療サービス課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医学部医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医学部医療サービス課	

		医療機関内における事故報告等の 医療に係る安全の確保を目的とし た改善のための方策の状況	医学部医療サービス課	
--	--	--	------------	--

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての
の管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 山秋 悦宏
閲覧担当者氏名	医療サービス課長 佐藤 宏通
閲覧の求めに応じる場所	附属病院2階 カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	53.7%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		6,502人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,247人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,040人
	D：初診の患者の数		19,412人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて少数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11号各号に掲げる体制の確保状況

①専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名)・無
②専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)・無
③医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・所属職員：専任 (1) 名 兼任 (9) 名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療に係る安全管理のための委員会の事務に関すること。2 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。4 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。5 医療安全管理に係る連絡調整に関すること。6 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること7 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること8 安全管理に関する教育・研修に関すること。9 その他医療安全対策の推進に関すること。	
④当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無

指針の主な内容：

- 1 はじめに（改訂7版の序）
医療安全文化を維持向上させるために
- 2 安全管理に関する基本指針
- 3 医療事故防止の基本
- 4 医療事故防止に関する基本用語
- 5 インフォームド・コンセント
- 6 安全管理体制に関する組織
- 7 医療事故を未然に防止するための対応
- 8 レポートの作成
- 9 医療従事者と患者さんとの間の情報の共有
- 10 患者さんからの相談への対応
- 11 職員研修
- 12 医療安全推進のために必要なその他の事柄
- 13 関連マニュアル

⑥医療に係る安全管理のための委員会の開催状況

年 18 回

（委員会の名称）

- 1 医療安全管理委員会（平成13年4月設置）
- 2 リスクマネジャー会議（平成13年4月設置）

（開催状況）

- 1 原則／毎月・1回（平成18年度実績 12回）
- 2 原則／2ヶ月・1回（平成18年度実績 6回）

・ 活動の主な内容：

- 1 島根大学医学部附属病院医療安全管理委員会規則
 - 1) 医療事故等の防止対策に関すること
 - 2) 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること
 - 3) 医療事故に係る患者さま及びその家族への対応に関すること
 - 4) 安全管理のための職員の教育・研修に関すること
 - 5) 医薬品の安全使用に関すること
 - 6) 医療機器の安全使用に関すること
 - 7) その他、医療安全管理に関すること
- 2 島根大学医学部附属病院リスクマネジャーに関する要項
 - 1) 安全確保のための点検の実施に関すること
 - 2) 当該診療科等の構成員に対し、安全確保のための指導の実施に関すること
 - 3) リスクマネジャー会議への参画に関すること
 - 4) その他、医療事故防止に関すること

⑦医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 21 回

・ 研修の主な内容：

- 1 輸液ポンプ・シリンジポンプ操作練習
- 2 静脈注射実施に関する研修
- 3 講演「本院入院患者における内的及び外的要因」
講演「画像検査を安全におこなうために（CT編、MR編）」
- 4 「インスリン指示書改訂に関する研修」
- 5 講演「家族が求めるグリーフケア」
－悲しみの中で見えたやさしさ－
- 6 講演「患者満足のチーム医療」
－ケアマインド・アンド・コーチング－
- 7 「縫合糸/針の適用使用について」
－手術室での針の遺残防止－
- 8 講演「薬を安全に使用していただくために」
- 9 講演「検査部における医療安全への取り組み」
- 10 講演「放射線検査を安全におこなうために」
- 11 講演「医師から見た医療過誤対応マニュアル」
DVD 全6巻

⑧医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1 医員（研修医）が行う医療行為に関する安全管理マニュアルの改正
「研修医が単独で行ってよい処置、処方基準」を作成（卒後臨床研修センター）
- 2 転倒、転落のインシデントレポート報告による施設、設備及びシステムの改修、改善
（階段、スロープ、風呂の改修）
- 3 インシデントレポート報告による医療情報システムの整備
（リストバンド発行機、電子カルテオーダーシステムにおける単位表示の改善、アレルギー情報の追加）